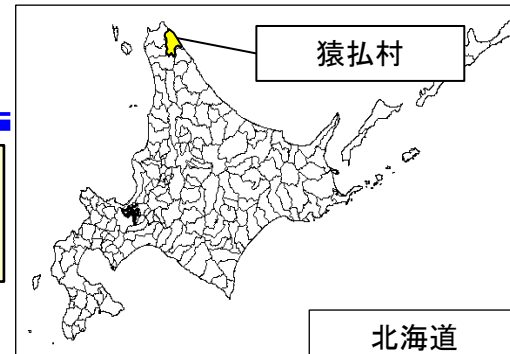


1-① 北海道宗谷郡猿払村猿払地区集落協定

- 村全体で広域の協定を締結し、TMR(混合飼料)センター、農作業受託組織の組織化による飼料生産の集約、生産技術習得のための研修活動など経営発展に資する取組を実施。

協定面積：4,711ha（全て草地） 交付金額：7,064万円（個人配分46%、共同取組活動54%）
協定参加者：農業者63人、農業生産法人10 協定開始：平成12年度



地域の現状

- 当地区は、北海道の北部に位置しており、地域の農地のほとんどが草地の酪農専業地帯。
- 経営体1戸当たりの規模拡大が進む一方、農業者の高齢化、担い手不足により、飼料生産、生乳生産に要する労働力が不足。
- 平成12年から本制度に取り組んでいるが、TMR(混合飼料)センターや農作業受託組織を活用した生乳生産の維持・拡大を図るため、村全体で広域の協定を締結。



【農作業受託組織による収穫作業】



【植樹作業(排水路周辺)】

取組の概要

- 新規就農者の確保、認定農業者の育成、集团的かつ持続可能な体制整備を本制度の活動として位置づけて取り組むことで、農業生産法人を中心とした飼料生産体制を構築。
(作業受託面積：H22:1,738ha → H26:1,891ha)
- 生産技術向上のための勉強会である「^{らくのう}さるふつむら楽農塾」と連携して研修活動を実施し、酪農経営の安定化、担い手育成を推進。
- 小中学生に地元農業への理解を深めてもらうため、村内産生乳を使った「さるふつ牛乳」を給食へ提供。



【楽農塾による研修活動】



【地場産牛乳の学校給食利用】